

	A案	B案	C案	D案																																				
概要																																								
	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">市庁舎</th> <th>消防庁舎</th> </tr> <tr> <td>窓口</td> <td>多目的スペース</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">免震構造 RC造</td> <td>耐震構造 S造</td> </tr> </table>	市庁舎		消防庁舎	窓口	多目的スペース		免震構造 RC造		耐震構造 S造	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">市庁舎</th> <th>消防庁舎</th> </tr> <tr> <td>窓口</td> <td>多目的スペース</td> <td></td> </tr> <tr> <td>免震構造 RC造</td> <td>耐震構造 S造</td> <td></td> </tr> </table>	市庁舎		消防庁舎	窓口	多目的スペース		免震構造 RC造	耐震構造 S造		<table border="1"> <tr> <th colspan="2">市庁舎</th> <th>消防庁舎</th> </tr> <tr> <td>窓口</td> <td>多目的スペース</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">免震構造 S造</td> <td></td> </tr> </table>	市庁舎		消防庁舎	窓口	多目的スペース		免震構造 S造			<table border="1"> <tr> <th colspan="2">市庁舎</th> <th>消防庁舎</th> </tr> <tr> <td>窓口</td> <td>多目的スペース</td> <td></td> </tr> <tr> <td>免震構造 RC造</td> <td>付加制震構造 S造</td> <td></td> </tr> </table>	市庁舎		消防庁舎	窓口	多目的スペース		免震構造 RC造	付加制震構造 S造	
市庁舎		消防庁舎																																						
窓口	多目的スペース																																							
免震構造 RC造		耐震構造 S造																																						
市庁舎		消防庁舎																																						
窓口	多目的スペース																																							
免震構造 RC造	耐震構造 S造																																							
市庁舎		消防庁舎																																						
窓口	多目的スペース																																							
免震構造 S造																																								
市庁舎		消防庁舎																																						
窓口	多目的スペース																																							
免震構造 RC造	付加制震構造 S造																																							
エキスパンションジョイント	市庁舎と消防庁舎の間に発生。建物正面にEXP-Jが見えてしまう。 ○	窓口と多目的スペースの間に発生。空間の有効利用に工夫が必要。 △	防災センターとの間に巨大EXP-Jが発生。メーカー1社指定となる。 △	窓口と多目的スペースの間に発生。空間の有効利用に工夫が必要。 △																																				
建設費	市庁舎 47億円 消防庁舎 8億円 合計 55億円	5.6億円 (+1億円)	5.5億円 (±0)	5.9億円 (+4億円)																																				
工期 (平成32年度末竣工基準)	19ヵ月 △	18ヵ月 ○	20ヵ月 ×	18ヵ月 ○																																				
考察	市庁舎は複数回地震に耐えるためBCPの考え方により運用可能なコンパクトな計画。正面にEXP-Jが見えてしまう。 △	平成32年度末竣工に間に合い、コストも抑えられる。高層部は複数回地震に耐えるためBCPの考え方により運用可能なコンパクトな計画。 ○	耐震性能として最もグレードが高い分、コストと工期が必要となる。 △	複数回地震に耐える。家具等は固定するか部分的な床免震を採用することで被害を抑制できる。B案に制振装置のコストが足される。 ○																																				

RC造とS造の性能比較

	鉄筋コンクリート造 (RC造)	鉄骨造 (S造)
耐震性	剛性が高い。ブレース不要。	靱性が高い。ブレース要。
耐火性	コンクリートの耐火性高い。	外壁材、耐火被覆による。
耐用年数	長期。	RC造より短い。
フレキシビリティ	S造より柱が多く必要。打設後に緊張することで、ロングスパンの実現可。	ロングスパン対応できるが、剛性確保のためにブレースが必要となる。
自重	自重があり免震に適する。	軽いため免震に工夫が必要。
コスト	物価変動の影響緩やか。	物価変動の影響大。 RC造よりもコスト増。
工期	人工不足の影響大。	工場制作のため工期短縮。

耐震、免震、制震構造の性能比較

	耐震構造	免震構造	制震構造	付加制震構造
複数回地震	解析できない	解析可能	解析可能	解析可能
家具の転倒	固定など対策必要	対策不要	固定など対策必要。	固定など対策必要
大臣認定	なし	あり	あり	なし
エキスパンションジョイント	防災センターとの間に一般的なジョイント金物を設ける。	防災センターとの間に特殊なジョイント金物 (1社限定) を設ける	防災センターとの間に一般的なジョイント金物を設ける	防災センターとの間に一般的なジョイント金物を設ける
仮設山留	シートパイル程度	SMW (工期、コスト増)	シートパイル程度	シートパイル程度
工期	一般的	長期化	一般的	一般的
コスト	一般的	高額化 (免震ピット、装置分)	高額化 (制震ダンパー分)	高額化 (制震ダンパー分)
その他			免震+制震は設計期間増	設計期間変更なし。

※18か月を超える工期については、設計期間を短縮して対応。